

ロームシアター京都 レパトリーの創造

松田正隆 海辺の町 二部作

2023年

2月22日(水) - 26日(日)

会場

ロームシアター京都
ノースホール

文化センターの危機

新作

シーサイドタウン

再演



文化センターの危機

— 新作 —

文化センターの職員である。

吉村、辻井、中野の三人は不安な日々を送っていた。来年度から運営が民間に移行するのにもない、職員が解雇されると告げられていたからだ。

そんな時、中野の大学時代の友人がイベントの下見で文化センターを訪れる。週末をキャンプで過ごすために。

職員たちは山に行き、焚き火をする。

一方、コンビニでバイトをしている高校生の里岡は美術部顧問の教師、神長から、土曜の夜に流星群が見えると教えられ、心をときめかせる。

港の岸壁では、密航者を監視する男が佇んでいる。冬の海辺の地方都市、その週末、三日間のスケッチ。



中野——どうしました？

加藤——海が見える

中野——ここは、四方八方海ですから



中野——加藤さん、

焚き火したことありますか

加藤——いや、ないよ。

見たことはあるけど

クルミ——こちらに住まわれるって聞いて

シンジ——ああ、ええ、まあ



ウミ——ここ誰か、

住んでるんじゃないかと

思うときがあつて

シンジ——え



ウミ——住んでました？

シンジ——え？

ウミ——ここ、住んでたりしました？



松田正隆書き下ろしによる
劇場レパトリー作品の連続上演
ある海辺の町に住まう人たち

ROOMシアター京都では、劇作家・演出家の松田正隆による『海辺の町』二部作として、2021年1月に初演された「シーサイドタウン」と新作「文化センターの危機」、いずれもROOMシアター京都の「レパトリーの創造」から生まれた二作品を上演します。

松田は長らく京都で活動した後に拠点を東京へと移し、自身が主宰するマレビトの会での作品創作などを通して、演劇の上演についての様々な試みを通じてきました。「シーサイドタウン」は、自身の故郷・長崎を思わせる「海辺の町」に生きる人々を描きつつ、物語を演劇として上演することの本質を考える取り組みでもありました。

ROOMシアター京都の「レパトリーの創造」シリーズは、劇場で作品を創り、劇場で上演を行います。「シーサイドタウン」は、ROOMシアター京都ノースホールで長期間の創作過程を過ごし、その場所上演されました。リハースルを通して俳優たちがノースホールに、住み成す。プロセスと、彼らが演じる劇世界の中の「海辺の町」の住人たちの、暮らしの風景が、現実世界と劇世界のあいだで、多層的に折り重なり、わたしたちの目の前に立ち上がってくるものでした。

「シーサイドタウン」の続編ともいえる「文化センターの危機」は、「シーサイドタウン」に初演から出演する俳優6名に、新たにオーディションで選ばれた俳優1名を加えて演じられます。「海辺の町」を舞台とする二つの物語が、同じ場所、同じ俳優たちによって演じられます。ぜひ両方の上演をご覧いただき、それぞれの物語をお楽しみいただくとともに、演劇をめぐる問いかけにも触れてください。

レパトリーの創造について

ROOMシアター京都が、2017年度から取り組んでいるプログラムで、劇場のレパトリー演目として時代を超えて末永く上演されることを念頭に、公立劇場が主体的に作品製作に取り組み事業です。また、作品創造のプロセスを通じて、俳優、ドラマトウルク、制作者等の専門人材の育成や観客育成のための関連プログラムを企画し、レパトリーの創造から各地域における劇場文化をつくることを目指します。

ROOMシアター京都レパトリー作品サイト
<https://rohmntheatrekyoto.jp/reperory/>

作・演出——松田正隆

出演——生実 慧、鈴鹿通儀、大門果央、田辺泰信、

中川友香（文化センターの危機）のみ、深澤しほ、横田僚平

照明——藤原康弘・杉本奈月（マレブ青年団）
音響——合田洋祐（ROOMシアター京都）
演出助手・稽古場記録——福井裕孝
舞台監督——川村剛史（ROOMシアター京都）
イラストレーション——カナイフユキ
宣伝美術——南 琢也
撮影——中谷利明
制作——齋藤 啓・木原里佳（以上、ROOMシアター京都）
広報——松本花音・山形ゆき（以上、ROOMシアター京都）
プログラムディレクター——小倉由佳子（ROOMシアター京都）

松田正隆（劇作家・演出家・マレビトの会代表）

1962年、長崎県生まれ。96年『海と日傘』で岸田國士戯曲賞、97年『月の岬』で読売演劇大賞作品賞、99年『夏の砂の上』で読売文学賞を受賞。2003『マレビトの会』を結成。主な作品に『フェスティバル・トルキー』2018参加作品『福島を上演する』など。2012年より立教大学現代心理学部映像身体学科教授。2021年1月『シーサイドタウン』をROOMシアター京都で初演し、10年ぶりに自身の演出作品を京都で上演する。また、ROOMシアター京都「劇場の学校プロジェクト」では、2019年度から2021年度まで講師を務めた。

●公演の前にぜひお読みください。

（ROOMシアター京都 WEBマガジン「Spin-Off」掲載）

- 1 海辺の町 二部作 松田正隆インタビュー
https://rohmntheatrekyoto.jp/archives/interview_matsuda_2022/
- 2 関連ROOMシアタータウン「住む町」——文＝松田正隆
<https://rohmntheatrekyoto.jp/archives/living-sea-side-town/>



シーサイドタウン

— 再演 —

この国の西の果て、海辺の町。
一軒の空き家に一人の男（シンジ）が住みはじめる。
シンジは東京で職をなくし行き場を失い、故郷に帰ってきた。
荒廃していく地方の町では凡庸なるファシズムが横行し、
シンジは戸惑いながらもその流れに馴染んでゆく。
相変わらず地縁・血縁のしがらみも絡みつく。
日々の生活の中で「何かの兆し」は常に現れ、
起こるべくして起こった事件がシンジのもとに報告される。

写真提供：シーサイドタウン / 40
Photo: Toshiaki Nakatani

Crisis at Culture Center & Seaside Town

by Masataka Matsuda

at ROHM Theatre Kyoto

From Wed. 23 – Sun. 26 February, 2023

Please see below for more information in English

English subtitles available via rental tablet.





ロームシアター京都

レパトリーの創造

松田正隆

海辺の町 二部作

文化センターの危機

新作

シーサイドタウン

再演



[チケット | 全席自由・税込] — 「文化センターの危機」「シーサイドタウン」共通
一般3,500円、ユース(25歳以下)2,000円、18歳以下1,000円

2公演セット券：一般6,000円、ユース(25歳以下)3,500円、18歳以下1,500円

※チケットは各公演ごとに必要です

※ユースおよび18歳以下の方は、公演当日に受付にて証明書(学生証、免許証等)をご提示ください。

※推奨年齢中学生以上。未就学児入場不可。

[チケット発売]

・会員先行*：11月19日|土|10:00-

・一般：11月26日|土|10:00-

*フレンズ会員(オンライン会員)、Club会員(京都コンサートホール・ロームシアター京都共通の会員制度)・京響友の会会員

[チケット取扱]

・オンラインチケット[24時間購入可] ※要事前登録(無料)

<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

・ロームシアター京都 チケットカウンター TEL. 075-746-3201

(窓口・電話とも10:00-19:00/年中無休 ※臨時休館日を除く)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため短縮営業する場合があります

・京都コンサートホール チケットカウンター TEL. 075-711-3231

(窓口・電話とも10:00-17:00/第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日)

・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> / Pコード:516-046 ※二作品共通(セット券の取扱なし)

松田正隆 海辺の町 二部作 公演ページ

<https://rohmtheatreyokyo.jp/event/99920/>



[お問合せ] ロームシアター京都チケットカウンター TEL. 075-746-3201

企画製作：ロームシアター京都

主催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

協賛：京都信用金庫

令和4年度文化資源活用推進事業

後援：京都新聞



2023年2月22日(水) - 26日(日)

開場時間：開演の30分前

上演時間：「文化センターの危機」1時間45分(予定)「シーサイドタウン」1時間45分

	22(水)	23(木・祝)	24(金)	25(土)	26(日)
13:00					上映会○
14:00		「文化センター」☆		「シーサイドタウン」☆	
16:00					「文化センター」☆
18:30		「シーサイドタウン」☆		「文化センター」★	
19:00	「文化センター」		「シーサイドタウン」		

★ 終演後にアフタートークを行います。

☆ 託児サービスがあります。

詳細はロームシアター京都ウェブサイトをご確認ください。(要事前予約)

○「シーサイドタウン」初演時の稽古場を撮影した記録映像

(ディレクション：村川拓也、撮影：米倉伸)の上映とトークを行います。(入場無料・予約不要)

全上演回(上映会をのぞく)で、日本語・英語対応字幕タブレットの貸出を行います。(要事前予約・定員あり)

※いずれも詳細はロームシアター京都ウェブサイトをご確認ください。



ロームシアター京都

〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13

TEL. 075-771-6051 (代表)

075-746-3201 (チケットカウンター)

FAX. 075-746-3366

<https://rohmtheatreyokyo.jp/>

*営業・開館時間は状況により変更することがあります。
最新情報はお問い合わせください。

・京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車1番出口より徒歩約10分

・市バス32・46系統「岡崎公園ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ

・市バス5・86系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車徒歩約5分

・市バス31・201・202・203・206系統「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約5分